

主な機能一覧

F Fundamentals **A** Architect **L** Landmark **S** Spotlight **D** Design Suite

ベーステクノロジー	F	A	L	S	D
Parasolidモデリングカーネル	●	●	●	●	●
高速な描画テクノロジー(VGM)	●	●	●	●	●
Cinewareレンダリングエンジン	●	●	●	●	●
2D/3D基本機能	F	A	L	S	D
線と面の2D汎用作図編集	●	●	●	●	●
図形への透過 / 覆写表現	●	●	●	●	●
2D/3D対応の文字、寸法作図	●	●	●	●	●
スナップルーペ・X線選択モード	●	●	●	●	●
スマートオプションディスプレイとクリック検索	●	●	●	●	●
オンスクリーンビューコントロール	●	●	●	●	●
イメージのクロップ / 圧縮	●	●	●	●	●
データベース / ワークシート	●	●	●	●	●
シートレイヤ・ビューポート	●	●	●	●	●
デザインレイヤ・ビューポート	-	●	●	●	●
ビューポートスタイル	●	●	●	●	●
オーガナイザ(図面構造の集中管理)	●	●	●	●	●
リソースマネージャ(リソースの総合管理)	●	●	●	●	●
名前の一括変換	●	●	●	●	●
ハイブリッドシンボル/2Dコンポーネント	●	●	●	●	●
フローティングデータバー	●	●	●	●	●
ウインドウフリックタブパレットの切り離し	●	●	●	●	●
2D→3Dへのブッシュ / ブルモード	●	●	●	●	●
多彩で強力な3Dモデリング / 編集	●	●	●	●	●
統合ビューア	●	●	●	●	●
クリップキューブ(3Dモデルのリアルタイム切断)	●	●	●	●	●
2D / 3D対応のワーキングプレーン	●	●	●	●	●
協働設計支援(プロジェクト共有)	-	●	●	●	●
クラウド連携・リモート	●	●	●	●	●
DXF/DWG取り込み・取り出し	●	●	●	●	●
PDF(2D)取り込み・取り出し	●	●	●	●	●
PDF(3D)取り出し	-	●	●	●	●
Excel参照・取り込み・取り出し	●	●	●	●	●
パブリッシュ(DXF/DWG/DWF/Excel)	●	●	●	●	●
パブリッシュ(DPF/印刷/イメージ)	-	●	●	●	●
3Dレンダリング	●	●	●	●	●
バックグラウンドレンダリング	●	●	●	●	●
2D/3D基本機能	F	A	L	S	D
オブジェクトレベルの表示設定	-	●	●	●	●
ビューポートレンダリング	●	●	●	●	●
パスベースのウォータースルーニューメーション	●	●	●	●	●
写真と3Dの合成(Camera Match)	●	●	●	●	●
イメージエフェクト	●	●	●	●	●
豊富なシェーディング	●	●	●	●	●
バラカラスキンプ/シャドウキャッチャー	●	●	●	●	●
背景テクスチャ/背景放射光/フィジカルスカイ	●	●	●	●	●
コースティクスフォトン	●	●	●	●	●
ソフトシャドウ/アンビエントオクルージョン	●	●	●	●	●
CPUでも利用可能なアリスティックスRSレンダリング	●	●	●	●	●
VGX(AR)、パノラマビュー取り出し	●	●	●	●	●
Datasmithダイレクトリンク	●	●	●	●	●
Omniverseコネクター(Windowsのみ)	●	●	●	●	●
建築・内装設計機能	F	A	L	S	D
BIMobjectツール	-	●	●	●	●
Revit取り込み・取り出し・参照	-	●	●	●	●
IFC取り込み・取り出し・参照	-	●	●	●	●
Solibriダイレクト接続	-	●	●	●	●
都市計画・ランドスケープデザイン機能	F	A	L	S	D
GeoTIFF対応のジオリファレンス	-	●	●	●	●
オンラインGISデータの利用	-	●	●	●	●
地形モデルの作成・編集・解析	-	●	●	●	●
地形モデルの造成・土量計算	-	●	●	●	●
ランドスケープエリア/生け垣	-	-	●	●	●
群葉の表現	-	-	●	●	●
道路/ガードレール作成	-	●	●	●	●
縁石・境界と枠	-	●	●	●	●
舗装の作成・位置合わせ・ドレーブ	-	●	●	●	●
多機能の植栽ツール/既存樹木ツール	-	-	●	●	●
Maxonプランツ	●	●	●	●	●
植栽添景ライブラリ	●	●	●	●	●
灌水システム	-	-	●	●	●
ステージ&ライティング計画機能	F	A	L	S	D
座席セクションレイアウト	-	●	-	●	●
LEDビデオウォール	-	-	●	●	●
イベント空間計画	-	-	●	●	●
ステージステップ/スロープ作成	-	-	●	●	●
柔軟な吊り元作成	-	-	●	●	●
概略図作成	-	-	●	●	●
トラス/ビンゴラス/ホイスト/ブライダル作図	-	-	●	●	●
照明器具データ・配置・GDTF編集	-	-	●	●	●
多彩なフォーカス指定	-	-	●	●	●
DMXパッチ(照明器具のパッチとトラッキング)	-	-	●	●	●
柔軟な照明用番号付け	-	-	●	●	●
スピーカー配置	-	-	●	●	●
電源やケーブルシステムの作図	-	-	●	●	●
ビデオカメラ/ビデオスクリーン	-	-	●	●	●
インベントリと設備リスト	-	-	●	●	●
Showcase	-	-	●	●	●

ファイル互換一覧

取り込み	DXF・DWG(R2.5～2026)/DWF(4.2・5.5・6.0)/3D DWF(6.01)/DWFX(6.02)/イメージファイル(BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・ICO[Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・PBM・PGM・PPM・HDR・PCT・JP2])/PDF/ワークシート(TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX)/スクリプト(TXT・VSS・VS・PY・PYC・XXT・MPC)/IGES (IGS・IGES)/OBJ/SAT/STEP (STP・STEP)/STL/Rhino 3DM (1～7)/Parasolid X_T (9～37)/Cinema 4Dテクスチャ(R13～2026)/USD (usd/usda/usdc/usdz)/mtextureテクスチャ/Arrowayテクスチャ/HDRi (HDR・EXR・JPG・PNG)/Distributionファイル(IES)/MCD (7～12)/VWX (2008～2025)/Mosa Pattern / シンボル(DXF・DWG・IGES・OBJ・SAT・STEP・STL・Rhino 3DM・Parasolid X_T)/Jw_cad(JWW・JWS)	●	●	●	●	●	●
	IFC・IFCXML・IFCZIP(2x2・2x3・4)/Revit2011～2026 (RVT・RFA)/3DS/SketchUp (SKP 4～2025)/点・群・群(LAZ・LAS・PTS・E57・XYZ・PLY)/PartSpec(DXF・DWG・SAT・IGS)/隣接マトリックス(TXT・CSV)/BCF・BCFZIP/ ジオリファレンスイメージ(BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD・ECW)/シルhouette(3DS・SKP)	—	●	●	●	●	●
参照	Shape(SHP)/座標データ(TXT・CSV)	—	●	●	—	●	●
	照明器具情報(Lightwright5～6)/MVR(1.6)/GDTF(1.2)	—	—	—	●	●	●
取り出し	DXF・DWG(R2.5～2026)/DWF(4.2・5.5・6.0)/ワークシート(XLS・XLSX)/VWX(2026 [レイヤ参照])	●	●	●	●	●	●
	イメージファイル(BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・ICO [Windowsのみ: DDS]・[Macのみ: SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・PBM・PGM・PPM・HDR・JP2])/PDF/IFC・IFCXML・IFCZIP(2x2・2x3・4)/Revit2011～2026(RVT・RFA)/VWX(2026 [デザインレイヤビューポート])	—	●	●	●	●	●
取り出し	DXF・DWG (R12～2026)/DWF (4.2・5.5・6.0)/3D DWF (6.01)/DWFX (6.02)/EPSF (3.1)/イメージファイル(BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・HEIF[Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: T2・TGA・EXR・PSD・KTX・ASTC・PBM])/PDF (1.7)・PDF A-1b(1.4)・PDF A-2b(1.7)・PDF A-2u(1.7)・PDF A-3b(1.7)・PDF A-3u(1.7)・PDF A-4(2.0)・PDF A-4e(2.0)/スクリプト(TXT・PY・VSS・VS)/ワークシート(TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX)/データベース(TXT・CSV・DIF・SLK)/Cinema 4D (2025)/USD (usd/usda/usdc)/COLLADA (DAE)/FBX/IGES (IGS・IGES 5.3)/OBJ/SAT/STEP (STP・STEP)/STL/Rhino 3DM/Parasolid X_T (9～37)/Strata Vision/HDRi (HDR)/ パノラマ (HTML)/VGX/ アニメーション(MOV)/VWX (2021～2025)/Unreal Datasmith (4.27)/Jw_cad(JWW)	●	●	●	●	●	●
	IFC・IFCXML・IFCZIP (2x3・4)/Revit2021～2026 (RVT・RFA)/地理空間情報 (KML)/3DS /3D PDF/ ジオリファレンスイメージ(BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD)/BCF(v2.1・v3.0)・BCFZIP(v2.0)	—	●	●	●	●	●
取り出し	Shape(SHP)	—	●	●	—	●	●
	ASCIIテキスト(3.0)/照明器具情報(Lightwright5～6)/ESC (Vision 4～Vision2026) /MVR(1.6)	—	—	—	●	●	●

※記載されている情報は2025年11月現在のものです。最新の情報は弊社Webサイトをご覧ください。

スタンドアロン版

永続ライセンス	価格	393,800 円(税込)	523,600 円(税込)	523,600 円(税込)	523,600 円(税込)	676,500 円(税込)
	型番	124291	124292	124293	124294	124295
年間サブスクリプションライセンス ^{※1}	価格	132,000 円(税込)	198,000 円(税込)	198,000 円(税込)	198,000 円(税込)	264,000 円(税込)
	型番	SUBF31Y	SUBA31Y	SUBL31Y	SUBS31Y	SUBD31Y
月間サブスクリプションライセンス ^{※2}	価格	13,200 円(税込)	19,800 円(税込)	19,800 円(税込)	19,800 円(税込)	26,400 円(税込)

追加モジュール

永続ライセンス (Design Suite モジュール 2026)	価格	Design Suite	Design Suite	Design Suite	Design Suite
	型番	VRCR31	ARCR31	LRCR31	SRCR31
永続ライセンス (Fundamentals 2026への追加用)	→Architect	→Landmark	→Spotlight		
	価格	129,800 円(税込)	129,800 円(税込)	129,800 円(税込)	
	型番	VRAR31	VRLR31	VRSR31	

※1 販売店/家電量販店から購入する場合、ご購入先に専用申込

書のご提出が必要な製品です。

※2 直接ベクターワークスジャパンへの申し込みとなります。
販売店/寄賣店経由ではお申し込みいただけません。

販売店/家電量販店経由でのお問い合わせください。

Vectorworks評価版 <https://customers.vectorworks.net/trial?lang=j>

Vectorworks推奨動作環境 ▶ <https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/vw2026.html>

ベクターワークスジャパン

<https://www.vectorworks.net>

Vectorworks Japan Store

vectorworks Japan Store
<https://store.vectorworks.co.jp>

email (販売店) : aa-si-team@vectorworks.co.jp
Vectorworks、Renderworks、BraceworksとConnectCADはVectorworks, Inc.の登録商標です。SmartCursorとVectorScriptはVectorworks, Inc.の商標です。Vision3DはVectorworks, Inc.の製品です。すべての権利はVectorworks, Inc.が保有しています。Windowsは米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、mac OSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。その他記載されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Design Suiteを使用し、一部、画像処理を行っているものを作成されています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。





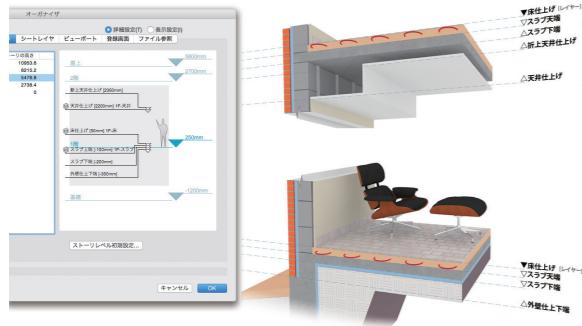
ARCHITECT

Vectorworks Architectは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ(テクスチャマッピング/レンダリング等)機能に加え、建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的な建築・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。

01 階高設定と空間プログラム

階高を定義するストーリ機能によって、天井仕上げや腰壁天端などのレベルを内包した各階のFLを設計GLからの高さで決定できます。さらに建築オブジェクトはレベルに連動するため、ストーリの数値を変更するだけで自動修正されます。建築で重要な空間プログラム機能も搭載されています。スペースツールによって、リビングや廊下の部屋名や面積、仕上げなどの情報を定義でき、ワークシートに面積表や仕上げ表として集計可能です。(スペースはSpotlightでも利用可能)

F A L S D



03 BIMツールで効率的にモデリング

壁やスラブなどの専用ツールを使うことで、高さや厚みなどの情報を持たせながら図面表現と3Dモデルを同時に作成できます。設定した情報はスタイルとして保存することで繰り返し利用が可能です。軸体以外にも、床の開口部に沿って簡単に配置できる階段ツール、壁にダイレクトに作図できるドアや窓ツールなどパラメトリックなツールが充実しています。無償提供プラグイン「BIM拡張パッケージ」を使うと、在来軸組や木造建具をはじめ国内仕様のBIMモデリングが可能です。

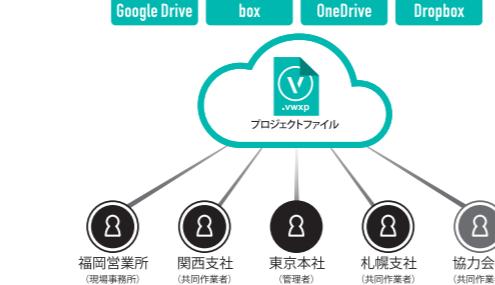
F A L S D



02 設計プロセスを加速させる作業環境

計画の軸線に応じて図面を回転できる機能やオブジェクトごとに表示/非表示をコントロールする機能、レイヤなどのファイル構造を一覧できるナビゲーションパレットによって、迅速かつ柔軟に作業環境を切り替えることができます。複数人で設計を進める場合は、プロジェクト共有機能を使うと、それぞれの状況を確認しながらお互いの作業を干渉することなく協働設計を進めることができます。シンボルやテクスチャなどのリソースは、ワークグループ機能を活用することで社内標準を構築できます。

F A L S D



04 柔軟なインテリアデザイン

内装をデザインするパラメトリックツールも搭載されています。キャビネットツールは、モジュール寸法・扉仕様等をカスタマイズ可能です。カウンタートップツールはキャビネットと合わせて使用できます。天板形状・厚み・エッジ仕様等、納まり検討しながら効率的にモデリングできます。シンボルを挿入すると自動的に天板が切り欠かれるため、キッチンのカウンタートップや洗面のワークトップ、受付カウンターなどあらゆる場面でお使いいただけます。

F A L S D



05 敷地と周辺環境の再現

外部ファイルをVectorworksにドラッグ&ドロップするだけで、取り込み設定のダイアログが表示され、素早く作業に移ることができます。国土地理院の数値地図データや測量データ、点群データの取り込みも可能で、現況の地形モデルを素早く作成できます。太陽光設定ツールを使用すると、敷地の緯度経度を設定するだけで年間や1日の日照・日影のシミュレーションを行えます。(太陽光設定はSpotlightでも利用可能)

F A L S D



06 外構デザイン

舗装エリアの形状、パターン、マテリアルを設定できる舗装ツールは、玄関から門までのアプローチやカーポートなど幅広く表現します。さらに縁石ツールで舗装オブジェクトに関連付けて舗装の枠をデザインすることも可能です。フェンスツールを使用すると、支柱や門扉などを詳細に表現したフェンスを簡単に作成できます。これらのツールは、スタイルを使用するとデザイン全体で一貫性が保たれ、修正などの手作業を軽減します。(フェンスはSpotlightでも利用可能)

F A L S D



08 データの管理とレポート作成

指定した条件に合致したオブジェクトを色分けするデータの可視化機能や、情報を図面上に表示するデータタグの機能を使用すると、視覚的に情報を確認できるため設定ミスを防ぎます。レポート機能として、情報を一覧表として集計できるワークシートや、オブジェクトのビューや注釈を一覧で取り出し建具表などを作成できるグラフィック凡例ツールも搭載されています。モデルに含まれるIFCやレコード情報は、フィールドのプリセットやオブジェクト情報パレットに表示する項目をカスタマイズすることができるデータマネージャで効率的に管理します。

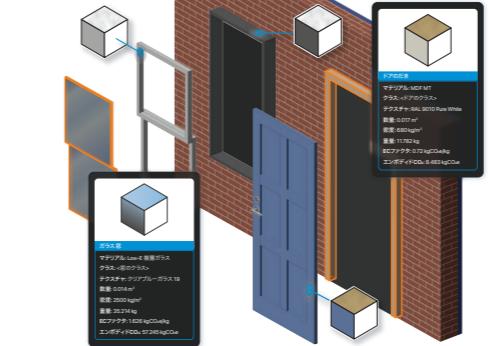
F A L S D



07 段階的に詳細なカスタマイズ

多くの壁やスラブなどは単一材料ではなく、複数の材料で構成されています。それをスタイルとして保存することで、スタイルを選びながら素早くモーリングできます。作成した壁のスタイルを変更するだけで、詳細な壁に変えることができます。2Dおよび3D表現を含む材料の属性やデータを定義するマテリアルを使用すると、構造、エネルギー、分類情報の一元管理ができます。また、スタイルやマテリアルは社内の標準仕様として共有できます。

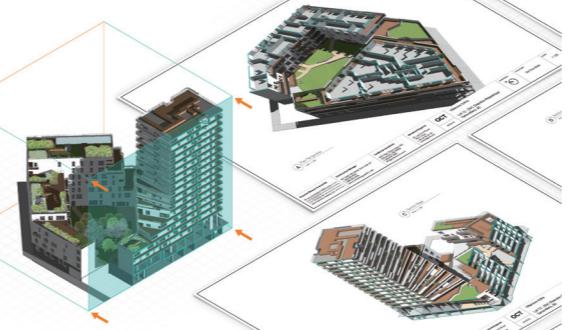
F A L S D



09 モデルとリンクした図面作成

デザインの次に必要なものは提出物としての設計図書です。作成した建築BIMモデルから各種ビューポート機能を使って、平面図や立面図、断面図や展開図を取り出することができます。ビューポートはモデルと連動しており、モデルに変更を加えるとビューポートにも変更が反映されます。立断面図ビューポートは、ダブルクリックすることでモデルを直接編集できます。さらに図面枠ツールでプロジェクトや図面の情報と連携した表題欄の作成が可能です。(展開図はArchitect、Design Suiteのみ)

F A L S D



10 シームレスなコラボレーション

作成したファイルは多くの形式での取り出しが可能です。BIMの標準フォーマットであるIFCに正式対応しているため、世界中にある多くのアプリケーションで活用することができます。さらに、BIM分類を共通のルールに基づいて割り当て、BIMコラボレーションワークフローを自動化できます。Revit取り出しへは、壁やスラブ、ドアや窓を、ネイティブなRevit要素およびファミリ、もしくは直接形状として取り出すかどうかを選択できます。また、作成した図面はパブリッシュ機能を使うことで、一括印刷や、PDFをはじめとする各種データへの取り出しが可能です。(BIM分類はArchitect、LandmarkもしくはDesign Suiteのみ)

F A L S D

